

わが村は美しく

旭川市編

第十回奨励賞

J Aたいせつ田んぼアート実行委員会



今年の田んぼアート。マツコ・デラックスさんと旭川市シンボルキャラクターの「あさっぴー」、鷹栖町マスコットキャラクター「あったかすくん」のコラボデザイン。



今年のデザイン画を紹介した看板がある。実物と比べると田んぼアートの完成度の高さがよく分かる。

お話をしてくれた人



J Aたいせつ田んぼアート実行委員会 代表
青木秀晃さん



水田をキャンパスに見立てて
稲で描く巨大田んぼアート。
農業・農村の魅力の発信拠点に

田んぼアートを続けて十八年。
今年はマツコさんとコラボ

定し、北海道米のPR効果も狙いました」と話す。

北海道の穀倉地帯・上川で毎年夏になると話題になる巨大な絵がある。水田をキャンパスに見立て、色の異なる稲を使って描く「田んぼアート」は、二〇〇六年に旭川市東鷹栖で、J Aたいせつの青年部が中心となつてスタートした。

田んぼアートの大きさは四〇×二七〇メートルで、十八年目の今年にはマツコ・デラックスさんと、旭川市と鷹栖町のキャラクターを配したデザインになっている。

事務局を務めるJ Aたいせつの岩佐卓さんは「二年目は地域から見える大雪山をモチーフにしたデザインでしたが、今年は二〇一四年から北海道米のイメージキャラクターを務めているマツコ・デラックスさんとのコラボが決

田んぼアートは、会場脇の高さ八・五メートルの見晴台が絶好の鑑賞場所だ。その下にある農産物直売所の壁には「田んぼアート作品のあゆみとして」過去のデザイン画が紹介されていた。その時々話題を反映させたテーマ設定で、年々デザインの難易度が上がっているようだ。アートはすべて稲で描かれて

いる。主に観賞用といわれる紫稲（紫と黄大黒（黄）、北海道米「ななつぼし」（緑）の三種の稲を基本に、赤色の稲「べにあそび」。白色の「ゆきあそび」、橙色の「あかねあそび」（二〇一三年から登場）の六色の稲で構成されている。

「瞬にして人を魅了する田んぼアートは毎年七月中旬から八月下旬までが見頃だ。J Aたいせつ田んぼアート実行委員会代

第10回コンクール



参加しよう、広げよう、いいもの伝えよう
「わが村は美しくー北海道」運動

旭川市へはJR函館本線旭川駅で下車。田んぼアートのある東鷹栖へは駅レンタカーを利用すると便利。今年の見晴台は閉鎖している。10月中旬に稲刈りの予定。周辺の観光情報は、JR旭川駅東コンコース前に観光案内所があるので活用ください。

お問い合わせ／事務局（J Aたいせつ）／☎0166-57-2357



4年ぶりの「田んぼアートフェスティバル」とあって開場と同時に、あちこちで人の列ができるほど盛況だった。



見晴台1階にある「農産物直売所」では、過去のデザインや田んぼアート制作の流れなどを写真で紹介している。



見晴台は、入場員数を制限して安全を保つ。アート全景を写真に収めきれず、スケール感を実感。



6種の稲の種を慎重にまいていく。この苗の出来が、田んぼアート成功の第一歩になる。



どの色の稲を植えるか、エリアを区切り、1本1本手植えるのは根気がいる作業だ。



見晴台下にある直売所アート店は、田んぼアートの開催に合わせて開業している。

かびあがり、見頃のピークとなる

稲の生育とともにアートが浮

の小中学生などが参加し六月

上旬に行われた。

と過去最大になったそう。

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

田んぼアートで深まる絆 二十周年に向けさらなる躍進も

田んぼアートは五月上旬に種

まきで始まる。約一カ月で苗を

生育。失敗が許されない大事な

作業だ。その頃、田んぼではア

ートの下絵を描く測量作業を実

施。デザイン画を点に落とし込

み、田んぼに杭を打ち、杭を色

ごとにテープで結び、田植えを

しやすいように水田に下絵を描

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

量を行い、今年では七〇〇〇点

と過去最大になったそう。

く。毎年四〇〇〇点以上の測

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。

の強い絆と人々の情熱が凝縮し

ていた。



「わが村は美しく北海道」運動は、北海道の農林水産業をより豊かにするために、2001年にスタートしました。2年に1度コンクール形式で優秀な活動を表彰しています。コンクールは1年目に優秀賞、奨励賞を表彰し、2年目に優秀賞から大賞を決定。地域の資源を掘り起こし、地域の活力とすると同時に活動を広くアピールし、豊かな北海道を未来へと受け継いでいくことを目的としています。

お問い合わせ／国土交通省 北海道開発局 農業水産部農業振興課 ☎ 011・709・2311 (内線5685)

